

大銀杏

野球号外③
令和4(2022)年
7月17日
藤嶺学園藤沢
中学校・高等学校
新聞部
(高校)
中田大翔 井上晃喜
村元颯泰 櫻山翔太
片桐伊織 高橋 新
三田航太郎 荒嶋航成
井上晴道 水野 真
野田 諒 細貝 陽
秋元鴻佑 植竹隼也
田中湧大
(中学校)
経澤悠希 川村一恒

4投手継投1失点に抑える 11安打で圧勝

7月17日14時30分、神奈川県大会3回戦、川崎工科戦が行われた。炎天下の中、結果は8対1、8回コールドと圧勝した。先攻の藤嶺藤は重松投手が4回被安打3、宮澤投手が2回被安打0、小峰投手が1回被安打2、根岸投手が1回被安打0と川崎工科打線を1点に抑えた。打線は11安打と藤嶺藤沢打撃コンセプトである「速く・低く・鋭いバットスイング」が1・2回戦に続き多く見られた。失策は2であったものの、1・2回戦に続き8イニング通じて守備も安定していた。

【秋元】

4回戦対横浜商業一八日一〇時開始予定
等々力球場



先頭打者 具志選手 初球3塁打



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
藤嶺藤沢	2	3	0	0	0	0	2	1			8	11	2
川崎工科	0	0	0	0	0	0	0	1	0		1	5	0

UMPIRE PL1B2B3B 下久宇小



選手へ拍手でエールを送る(2回戦)



3回戦、自主応援の藤嶺中高生、卒業生、一般の方で、1塁側観覧席ほぼ満席。選手の懸命なプレーに大きな拍手が送られた。【三田 水野】写真④ 小早川選手、捕手として投手をリードし3回戦では絶妙な2塁送球により盗塁を許さなかった。打撃も好調。



得点シーンが多く校歌の演奏も多い。一生懸命な演奏で選手の背中を押す。「呼び込み君」の演奏もある藤嶺藤沢吹奏楽部。炎天下の中の演奏が続く。

【2回戦撮影:三田】

長打小技絡め得点投手陣好投
3回戦、藤嶺藤沢対川崎工科の試合は、8対1の8回コールドで藤嶺藤沢が勝利した。先行の藤嶺藤沢は先頭の具志が初球を捉えライトフェンス直撃の3塁打で口火を切ると、川崎工科のバッテリーミスと内野ゴロの間に、2点を先制する。2回にも具志、山本、小早川の適時打でさらに3点を追加。5対0と序盤から主導権を握る。
一方投げては、先発の重松が4回被安打3、失点0で試合を作った。5回からは2番手・宮澤が登板し2イニングを被安打0、失点0に抑える。すると7回表、具志と木下の連打で1死1、3塁の好機を作ると、山本の内野安打の間に3塁の具志が生還。さらに、代打で出場した早田が犠飛を決めこの回2点を追加する。7回裏から登板した3番手・小峰が1点を失ったものの、8回表に木下のセーフティスクイズですぐさま1点を取り戻した。迎えた8回裏は、4番手・根岸が無失点に抑え、試合終了。勝利した藤嶺藤沢は、バントを絡めた攻撃で序盤からリードを作ると、重松、宮澤、小峰、根岸の4投手が川崎工科打線を1失点に抑える安定感を発揮し、危なげない試合運びを披露した。
【卒業生 矢澤拓郎】